News Letter　建築家の日常・非日常　2015.07.09 vol.100

ISSEI KATOH
ARCHITECTURAL
DESIGN OFFICE

西側ファサード。左手が玄関。南西の角にはルーフバルコニーを設けている。

2 階廊下のトップサイドライト。中廊下に陽を入れる。

リビングからアイランド型のキッチンを見る。右手外部にデッキ。左手は掲示板の壁面。

リビング一角の図書スペース。家族で読書を楽しむ。

小上りの和室と床下収納。右手は階段と玄関。ホワイトのトーンでまとめられている。

秋田市郊外、田園地帯の静かな環境に建つ住宅です。北側と西側の道路が鋭角に交わる角地で、変形ながら面積的にはやや余裕がありました。ご家族は夫婦＋子供 1 人で、将来は子供 2 人の 4 人家族を想定しています。1 階は LDK を中心とした家族スペースで、北側道路に面して玄関と玄関収納・水回りを配置し、東側にキッチン、南側に和室・リビング・ダイニングを配置しています。リビング南側には出幅 1,600 のデッキを設け、ダイニングとも関連づけます。和室は小上りとすることで場を仕切り下部は収納として使用します。さらに北側には家族で読書を楽しむ図書スペースも設けています。2 階は個室スペースで、寝室と子供室があります。南西側にルーフバルコニーを設け、2 階にあっても外部との繋がりを確保します。廊下に面して余裕のある収納を確保し納戸的に使用します。暗くなりがちなこの中廊下にはトップサイドライトで陽を導きます。

■特集　"YH-House"

お知らせ

□住まいづくり無料相談会を担当します。

日　時：2015 年 7 月 12 日（日）
　　11:00　～　17:00
会　場：パナソニック リビング ショウルーム 仙台
仙台市青葉区本町 2-4-6 仙台本町三井ビルディング 1F

例えば･･･　調理機器の入れ替えや住まいの寒さ・暑さ対策、または新築の間取り相談まで、住まいのことなら何でもＯＫ！ショウルームで専門家の意見を聞いてみませんか？経験豊富な一級建築士が無料でご相談に応じます。
ご相談のお申し込みはショウルームへ
TEL 022-225-4357

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：　加藤　一成

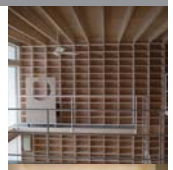
株式会社　加藤一成建築設計事務所
仙台オフィス
TEL：022-739-8931　FAX：022-739-8932
秋田オフィス
TEL：018-831-4315　FAX：018-831-4316
HP：http://www.issei-design.com/
Blog：http://www.issei-design.com/blog/
Mail：info@issei-design.com

>>Natsuiro Design

皆様、こんにちは！小野です。祝ニュースレター 100 回目です！継続って凄いですね。記念すべき今回！ですが、私のコーナーはいつもと特に変わらず、ゆるーくやっていきます（笑）7 月ですので、夏らしく梅雨のじめじめを感じさせないような爽やかなポスターで。東京の「ＫＩＴＴＥ」のポスターが大好き。色合いやタイポグラフィー、画と文字の比率や、デザインの間-ま-に凄く見入ってしまう。日常でも看板やチラシ、フリーペーパーや、カフェのメニューまで、広告なるものをよくじっと見てしまいます。学生の時は、鉛筆デッサンをよくしてましたが、最近はなかなか時間と余裕がなくてできてないなぁ…。デッサンすると、線に自分の気持ちだったり状況が現れるようで、自分と向き合える機会になります。猫でもデッサンしようかなぁと思う今日この頃でした。

>>BOOKSHELF

こんにちは。菅原です。
記念すべき 100 回目の NewsLetter に関わることができて嬉しく思います。
今回は本棚をテーマにしてみたいと思います。
昨年、某建築家設計の住宅見学会に行きました。（右上）壁面本棚に囲まれた家です。間取りやデザインはシンプルかつシャープでした。吹抜け空間＋壁面本棚といえば、ルイス･カーンのエシェリック邸を思い出します。（右下）私はこの写真が大好きで、棚との隙間にあるスリットのサッシを含めて魅力的です。見学した住宅も、棚の間に小窓があり、機能的かつおしゃれな空間でした。
ぜひとも本がびっしり収納された姿が見てみたいです。
自分でもこんな風にできたらなと思うのですが、夢には程遠い現状です。久しぶりに本を大人買いしたいな。
本を集めるには収納場所もお金も、たくさん必要ですね。



>> 編集後記

みなさん、こんにちは。7 月になりました。早いですね、今年も半分が過ぎ去ってしまいました。東北地方は例年よりかなり遅れて梅雨入りしましたが、ここまであまり梅雨らしい天候とは言えず、逆に西の地域は大雨で被害も出ているようです。梅雨末期に向けて心配ですね。

さて、 ニュースレターも本号で 100 号を迎えることができました。100 号といえば 8 年と 4 ヵ月。2007 年 9 月 13 日からスタートし、途中リニューアルのため若干空いた時期もありますが、何とか配信し続けてきました。ここまで続けてこられたのも、ひとえにお読みいただいている皆様のおかげと大変感謝しております。以前も書きましたが、月に 1 回締切りがあると本当に 1 ヵ月があっと言う間です。えっ、もうニュースレター、と。正直、今月はキツイから休もうかな･･･、という月も何度も何度もありました。しかし一度途切れたら･･･、という思いもあり頑張って続けてきましたし、これからも続けるつもりです。この先もお付合いいただきますよう、よろしくお願いいたします。

それにしても 100 号と言えば大記念号だと思うのですが･･･　**同じかよ！**　ですよね（笑）
100 号を機に大幅リニューアルを･･･などと妄想もしていましたがやはり現実は厳しい。毎月毎月なぜこのタイミングでニュースレター？と思いつつ、来月からも頑張ります（笑）

最後までお読みいただきましてありがとうございました。それでは次回もどうぞお楽しみに。

6 月某日、わずかに雪が残る森吉山へ。3 度目の登頂にして初めて頂上からの景色が楽しめました。が、下山途中に振り返ると、あっという間に雲に包まれていきました。1400mとは言えホント山の天気は変わりやすい。